

畑を耕しています
木島児童館



観察と水やり...



おやつと宿題♪

飯山市社会福祉大会終わる

9月28日(日)に、飯山市社会福祉大会が飯山市市民館にて行われました。「社会福祉大会ってなに？」という方がいらつしやるかも知れないので、ここで簡単に説明させていただきます。

「社会福祉大会」というのは、「社会福祉」に貢献された(されている)方々や、



介護を頑張っている方々などの「苦勞を労い、表彰状または感謝状を贈呈する式典と、その後、『誰もが安心して暮らせる地域づくりについて学びあうこと(大会宣言より抜粋)』を主な内容とした大会です。

今年、社会福祉事業功労者(社会福祉施設への物



心双方の援助をくださった方々(3名、社会福祉事業協働者(調理とうど衆や総合福祉センターの周辺整備をしてくださった方々)が18名、退職者表彰は民生委員の方々が多く26名、介護者表彰が12名でした。

その後の講演では、毎日新聞夕刊編集部長の野沢和弘氏に、「障害のある人もない人も、ともに暮らしやすい時代に」と題してお話しいただきました。



この方は、『障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例』が成立するまでを追った「条例のある街」(2007年2月19日朝日新聞より抜粋)の著者で、自らも重度知的障害のご子息をお持ちの方です。

千葉県議会においてその「条例」を成立させるまでの過程や、その成立に向けたタウンミーティングの際に出会った人々、また、ご

『もし目の見えない人が市民の大多数だったら、自分が市長に立候補する。当選したら「明かり禁止条例」を作る。目の見えない者にとっては、明るかろうが暗かろうが関係ない。そうすれば年間で数億円の財源を節約できる。文句を言う人がいたら、「少数派のために大事な財源を使えない」と

～会員の皆さんへ～

反論する。」

「障害者には、実に素晴らしいセンスや感性がある。社会と障害者との壁を無くすには、お互いのこと(社会情勢・障害者の気持ち)を理解しあうことが必須」と熱弁する野沢先生のお話には、とても説得力があり、目を啓かされた方も多かったのではないのでしょうか。

大会の最後には、関谷公典・飯山市子ども会育成連絡協議会々長に大会宣言を朗読していただき、それを会場にご参加の皆さんに採択していただきました。

そして、「第1回飯山版パパ検定」も、大会終了後に開催されました(右下の写真参照)。



難問の責め苦に遭うパパさんたち...

題ではなかったのですが、誰にでも答えられる「共通問題」と、個人的なこと(お子さんの好きな食べ物など)を問うた「個別問題」とに分けました。

結果は、共通問題の平均得点が、百点満点中ちょうど70点、個別問題は同じく百点満点中...さすが「良いパパさん」が集まっただけあって、百点でした!!



大会宣言を朗読する関谷会長

11月3日(月)の「ふれあい祭」にて、第2回「飯山版パパ検定」(体験版。先着者にはステキな参加賞ありマス)もあります。初めてのパパさんでも大歓迎です!

試しに一度いかがでしょうか...?



会場は鑑賞者でいっぱい...

大盛況で...ありますよ

9月6日(土)、本町の飯山市福祉センターが大賑わいになりました。

当初は、「そんなに宣伝してないけど大丈夫だろうか?来てもらえるだろうか?」と心配していたのですが、左の写真のように、大勢の方々がいらしてくださいました。タイトルは、ご存知おウメ婆さんのことばをモジッたものです。

鑑賞者からは、「この映画を観るのは数回目です。何度観ても人の善意・信頼の中での生活は大切だと思わされます。」

また、「飯山の自然の風景に改めて感動しました。」

「3年前に東京からUターンして来ました。田舎の良さ、人情など、人の一生を知った様な気がしました。」

「これで(観るのは)十五回目です。」

など、様々な意見をいただきました(アンケートより抜粋)。

また、「観たい映画はありますか?」との質問には、「母へ」との意見が多数

ありました。山田洋次監督、吉永小百合主演の秀作です。今年の1月に公開されたばかりの映画なので多少難しいかもしれませんが、実行委員会を検討し、いつか上映会を実現できるように努力いたします。

そして、第二回目の映画上映会の詳細が決まりました。第二回は、左にもありますが、「北国の街」です。主演の舟木一夫のファンクラブに入っていた方も少ないとか...。

昔懐かしい飯山の風景を観にいらしてみたいかがでしょうか...?

第2回映画上映会

内容：「北国の街」上映
期日：10月12日(日)
時間：午後2時～
場所：飯山市福祉センター
3階会議室3・4
費用：無料
お問合せ：
飯山市社会福祉協議会
☎ 62-2840